

## 取組実践の状況（JA相馬村）

自己改革の目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として「営農指導」「農産物販売」「生産資材購買事業」の3つの事業を中心に拡充・強化するために、役職員の研修会の参加、園地巡回講座、経営振興委員会、女性部や青年部、生産者との意見交換を行った。

### 【指導事業】

#### 1. 巡回指導の強化

指導事業では、昨年多発したリンゴの黒星病対策として農薬の品目選定をしたほか、散布回数も増やし、きめ細かな対応と園地巡回を実施した。

### 【販売事業】

#### 1. 輸出の拡大

リンゴの輸出は、大玉系の割合が極端に少なかったにもかかわらず春節が遅かったことや、ベトナム向けの取り組みの開始、スマートフレッシュ活用効果により需要が伸びたこと等により過去最高の1,540トンの実績となった。

#### 2. ジュース加工

新商品として販売したペットボトルジュースが好評となり、販売本数が伸びた一方で、加工原料調達の面で苦戦したが、出荷本数は141万本で前年比108%と過去最高の実績となった。

### 【購買事業】

#### 1. 組合員ニーズへの対応

在庫切れのない商品の供給に努め、配達も迅速・丁寧を心がけ、組合員のニーズに応えるよう毎年行っている農繁期の土・日・祝日の営業も継続した結果、生産資材の供給高が7億7,366万円、前年比103%の実績となった。また、機械化センターでは、供給高1億3,067万円、前年比124%の実績となった。

## 1. 農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称				
援農隊マッチング支援事業				
取り組みの目的・コンセプト				
りんご農家の労働力不足解消を目的とし、労働者を募集し農家に斡旋するもの。				
参集範囲	正組合員	×	職員	×
	准組合員	×	その他	×
	地域住民	○		
取り組み内容				
県のモデル事業として、労働力不足解消に短時間でも就労できるよう農家に働きかけ、スーパー等に募集チラシを掲載し農家に斡旋した。				
実績（人数・経費等）、効果等				
斡旋人数 ○H29.4.1～H30.3.31 25人（14農家） ○H30.4.1～H30.6.30 3人（3農家）				

## 2. 地域活性化への貢献力発揮

取り組みの名称				
相馬まるごとフェスタ				
取り組みの目的・コンセプト				
相馬地区の特産品や芸能を披露し、相馬地区をアピールする。				
参集範囲	正組合員	×	職員	×
	准組合員	×	その他	×
	地域住民	○		
取り組み内容				
弘前市の商業施設で、女性部による振る舞い餅や、アップルケーキ実演コーナーで相馬地区をアピールした。				
実績（人数・経費等）、効果等				
<p>2日間とも大勢の来場者があり、獅子舞や笛などの伝統芸能を披露し賑わいをみせた。特に相馬の手作りお菓子や缶バッジを制作するコーナー、紙漉き体験コーナーが大人気だった。さらに、相馬地区のブランド（飛馬りんご）やりんごジュースを試食していただき、口々に美味しいといただいた。2回目になるが相馬地区が徐々に浸透してきており、今後も地域活性化につながっていくものと期待される。</p> <p>○参加人数 女性部 15人 ○来場者 2日間 約300人</p>				